

## 北里大学東洋医学総合研究所を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	山梔子長期服用者の管理方針による現状調査 (No. 16036)
当院の研究責任者 (所属)	森裕紀子 (漢方診療部)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	腸間膜静脈硬化症の原因の一つに山梔子の長期服用がある。腸間膜静脈硬化症の患者さまのおよそ9割が漢方薬を長期に服用し、多くは5年以上の山梔子を含む漢方薬を服用しているが、5年未満の報告もあり、山梔子服用者における発生頻度の報告はなく不明である。腸間膜静脈硬化症は、山梔子の服用を中止により保存療法が可能な疾患であるが、自覚症状を伴わない場合も多く、早期発見が大切である。また、山梔子の使用をやめることは患者の不利益になるので、安全に使用することが大切である。そのため、山梔子服用者の腸間膜静脈硬化症の発生頻度や服用期間、山梔子を去とした後の症状の悪化の有無を明らかにし、当院で決定した管理方針による影響を調査する。
調査データ 該当期間	2000年1月から2015年10月までの情報を調査対象とする
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象となる患者さま 上記期間内に、山梔子を含む処方40回以上(約3年分)処方された方</li> <li>●利用する情報 カルテに記載のある診療録記録を利用する</li> </ul>
試料/情報の 他の研究機関への提供	他の機関への試料・情報の提供はない
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	電話：03-5791-6346 メール：omrc-ebm@insti.kitasato-u.ac.jp 担当者：EBMセンター
備考	